

## 令和4年度 学校評価アンケート集計と考察及び自己評価

■ アンケート結果について、A「十分」（4点）・B「おおむね十分」（3点）・C「やや不十分」（2点）・D「不十分」（1点）として計算し、平均を求めました。

教育目標	重点目標	アンケート内容	対象別平均		全体平均	考 察	自己評価
			対象者				
		楽しく学校に通っている	児童	3.8	3.8	「A」または「B」の回答率 児童98%、保護者98%と多くの方に肯定的な意見をいただき、多くの児童は楽しく登校し、一日を過ごしている様子が感じられます。今後もこれを維持できるように、教育活動の充実に努めます。	
			保護者	3.7			
よく考え自ら学ぶ子	わかる・のびる授業	授業が楽しくわかりやすい	児童	3.6	3.5	「A」または「B」の回答率 児童98%、保護者92%と回答しており、児童が授業を楽しく受けていることが伺えます。これは、ICT教育や協働的な学びなど、主体的に児童が取り組めるよう授業内容や方法を改善した結果だと思われま。この結果に満足することなく、今後も楽しく主体的に取り組めるような指導を一層充実させるとともに、基礎的な学力の向上に努めます。	B
			保護者	3.6			
			教職員	3.4			
		タブレットを使った学習が楽しい	児童	3.8	3.6	「A」または「B」の回答率 児童99%、保護者96%と高い数値を示し、ロイロノートの活用や写真データによる記録を始めとしたタブレットを活用した学習が確実に定着しつつあると感じられます。ただ、教員の平均が低めであり、まだまだ効果的に活用できるという授業者の考えが表れています。この意欲を生かし、さらに活用方法の工夫や活用場面の拡充に努めます。	
			保護者	3.7			
			教職員	3.4			
		家庭学習の習慣が身につけている	児童	3.5	3.3	「A」または「B」の回答率 児童90%、保護者79%と他の項目よりやや数値が低い傾向にあります。また、児童評価では個人差が大きい傾向にあります。今年度から高学年では、宿題に頼らず自主学習に重きを置いた指導を行っているため、個人の意欲に少し差が出ているようです。自分で考えて学習に取り組む力をつけることとともに、毎日の生活習慣を見直す必要もありますので、帰宅後は決まった時間帯に学習に取り組むことなど学習の習慣化について指導していきたいと考えます。	
			保護者	3.1			
			教職員	3.3			
		進んで読書に取り組んでいる	児童	2.9	2.8	「A」または「B」の回答率 児童65%、保護者45%と、項目の中で最も低い結果となりました。昨年度同様、特に保護者の皆様の評価が低い傾向にあり、学校としても改善すべき点だと考えます。今年度は学校司書や図書委員会が協力して様々な読書促進イベントを実施しています。そのため、本の貸し出し冊数は1月末までで24495冊という状況です。さらに、日々の指導の中でもデジタルだけでなく、読書の良さや楽しさを感じられる指導に努めます。	
			保護者	2.5			
			教職員	3.1			

教育目標	重点目標	アンケート内容	対象別平均			考 察	自己評価		
			対象者						
心豊かな子	共生・協働する人間関係	あいさつ・礼儀が身についている	児童	3.5	3.4	「A」または「B」の回答率 児童92%、保護者83%という結果でした。あいさつについては、「元気なあいさつと返事」という目標を立て、重点的に指導を行っております。少しずつできる子どもが増えてきていると実感していますが、保護者評価では約55%の方が依然として「C」や「D」の回答となっていることから、引き続き指導の必要性を感じます。ご家庭でも継続的な言葉かけをお願いいたします。	B		
			保護者	3.1					
			教職員	3.6					
		思いやりの気持ちが育っている	児童	3.8	3.7			「A」または「B」の回答率 児童97%、保護者99%と高い数値を示しており、思いやりの心を持ち、友人と良好な関係を築く児童が多いことがうかがえます。ご家庭での励ましや声かけに感謝いたします。学校でも、温かい人間関係が築けるよう児童同士が評価し合う場を設けたり、児童に寄り添った言葉かけを行うよう指導したりしています。引き続き、相手の立場を考えた言動の大切さや自分の果たすべき役割などを、教科学習や道徳科、学校生活全般を通して指導していきます。	
			保護者	3.6					
			教職員	3.8					
		決まりを守り、安全に注意して生活している	児童	3.8	3.7				「A」または「B」の回答率 児童99%、保護者96%と高い水準となっております。特に児童と教師の評価が高く、子どもたちは学校や交通の決まりを守って生活しようと努力し、教師も安全指導を校内放送をきっかけとして随時行ったり、日頃から決まりを守ることの意義を考えさせる指導を行ったりしました。その効果が表れていると考えられます。今後も、安全な生活が送れるよう指導していきます。
			保護者	3.5					
			教職員	3.7					
明るくたくましい子	健康で安全な生活	新型コロナウイルス感染防止に気をつけている	児童	3.8	3.7	「A」または「B」の回答率 児童98%、保護者97%と高い数値を示しています。この3年間で、児童も自分自身で気をつけようとする意識が浸透できました。また、保護者の方のご協力にも大変感謝しております。学校でも、新型コロナだけでなく、インフルエンザも含めた感染予防に努めていきます。	B		
			保護者	3.5					
			教職員	3.7					
		進んで運動に取り組んでいる	児童	3.4	3.3			「A」または「B」の回答率 児童84%、保護者73%と比較的低い結果となりました。体力テストの結果をもとに、走力・持久力の向上を目指した日常の指導を行うとともに、持久走週間や縄跳び記録会など運動の機会を多く持つようにいたしました。より児童に運動の必要性を分かりやすく伝えながら、運動する楽しさを味わわせていく必要があると考えています。	
			保護者	3.1					
			教職員	3.4					
		健康的な生活習慣が身についている	児童	3.2	3.4				「A」または「B」の回答率 児童81%、保護者84%ですが、早寝、早起き、朝ご飯の習慣が身についているかについては個人差が大きいようです。また、高学年になるにしたがい評価が下がる傾向にあります。生活習慣の乱れは学習面や健康面に影響を及ぼします。学校でも保健指導や学級指導で啓発を図っていきますが、健康的な生活習慣の習慣化が図られるよう家庭でのご協力をお願いいたします。
			保護者	3.3					
			教職員	3.7					